

アンモニア燃料タグボート「^{さきがけ}魁」の実運航を通じて創出された "世界初"の環境価値を船舶燃料としてのアンモニアの普及のため、 横浜市が購入しました

横浜市は、日本郵船株式会社などのコンソーシアムがアンモニアを燃料として航行する環境負荷の低いタグボートの開発段階から、その実用化に向けた取組を連携して進めてきました。

昨年、日本郵船グループの株式会社新日本海洋社（横浜市西区）は、横浜港で運航するアンモニア燃料タグボート「魁」の曳船サービス※を通じてアンモニア燃料により削減した温室効果ガス排出量を定量化した環境価値について、世界で初めて第三者認証を取得しました。

この成果を広く市民・事業者の皆様へ発信し、脱炭素社会の実現に向けた港湾・海運の挑戦を可視化するため、本市は連携内容の一つである「環境負荷低減の取組に係る市民等へのPR」に基づき、タグボート運航者である新日本海洋社からアンモニア由来の環境価値を購入しました。

本取組を通じて、「次世代船舶燃料の普及促進」と「横浜市内企業による先進的な脱炭素活動の発信」に努めてまいります。

※曳船サービス：曳船（タグボート）による大型船の離着岸補助作業

1 取組の経過

・2022年度（令和4年度）

「横浜港におけるアンモニア燃料タグボートの受入れに関する覚書」を、本市と日本郵船等が締結

・2024年度（令和6年度）

世界初の Truck to Ship 方式によるアンモニアバンカリングを横浜港本牧ふ頭にて実施し、アンモニア燃料タグボート「魁」の実証航海を開始

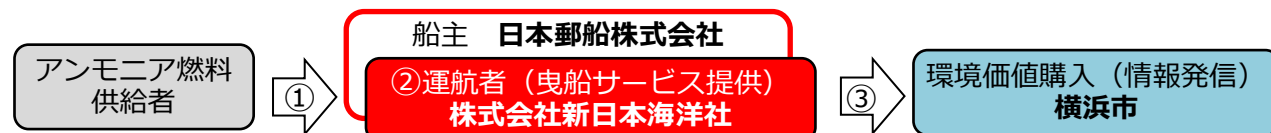
・2025年度（令和7年度）

アンモニア燃料タグボートの「魁」曳船サービスを通じて削減した温室効果ガス排出量を定量化し環境価値とする第三者認証を新日本海洋社が取得



本牧ふ頭 A4 岸壁における補給の様子（2024.7月）

2 環境価値売買の概要



①	燃料供給者が第三者認証等に基づく証書を発行したうえで燃料供給を実施
②	アンモニア燃料タグボート「魁」の運航者である新日本海洋社が曳船業務にて当該証書付きのアンモニア燃料を使用
③	消費したアンモニア量及び当該アンモニアの由来等に基づいた環境価値を販売

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

3 アンモニア燃料タグボート「魁」の概要

全長：37.20m、全幅：10.20m、総トン数：278 トン
建造年：2015 年（2024 年アンモニアエンジンへ換装）
船主：日本郵船、運航者：新日本海洋社



4 アンモニア燃料船の普及状況

日本海事協会は次のように評価しており、アンモニア燃料船の普及に向けた取組は、今後とも必要と考えられます。

- ・LPG 運搬船を除いて、どの船種でも LNG 燃料船が大半を占めていますが、コンテナ船などではメタノール燃料船も一定数就航しています。
- ・一部の船種ではアンモニア燃料船の採用が始まっていますが、発注残のデータによれば LNG 燃料船やメタノール燃料船が多くを占めています。

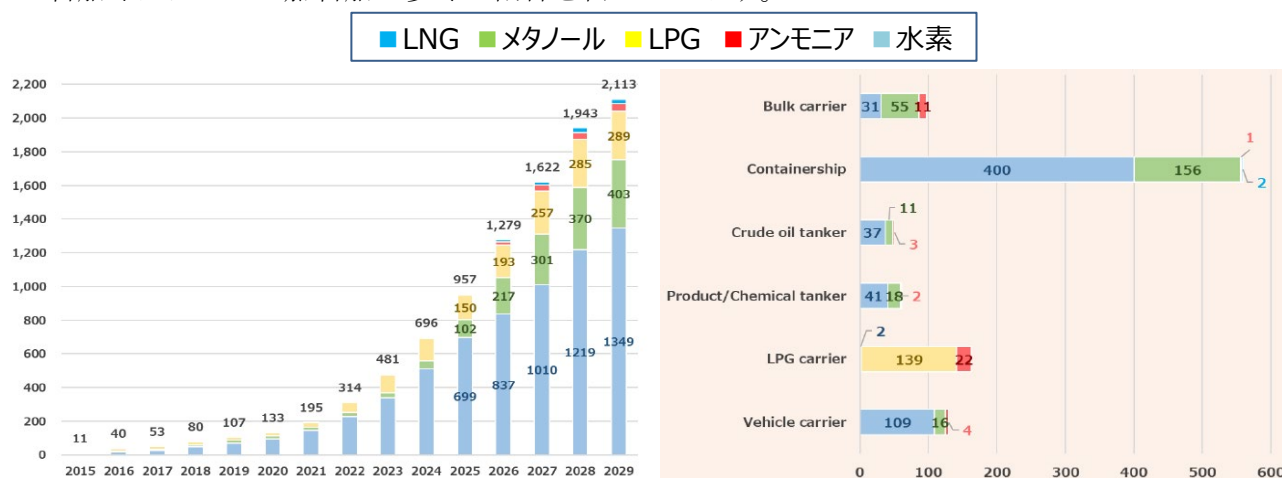


図 1 代替燃料船の就航隻数の推移 (2025.12 時点)

図 2 代替燃料船の発注残 (2025.12 時点)

出典：ClassNK 代替燃料インサイト (Ver3.2 2026 年 1 月、日本海事協会)

<お知らせ>

出展募集中 2026年11月にパシフィコ横浜で開催！

OXExPO

Ocean Transformation Exhibition

オーシャントランスフォーメーションエキスポ

2026.11.25-26

パシフィコ横浜(仮称)国際展示場

主 催：インフォーママーケットジャパン(株)
後 援：横浜市長官邸、横浜都市圏広域振興局
同時開催：ふみコン2026(仮称)横浜国際コンベンション
パートナーイベント：Sea Japan, Offshore & Port Tech

QRコード



[横浜港におけるカーボンニュートラルポート\(CNP\)の取組](#)

OXExpo (2026.11.25-26) への出展を募集中 (資料請求はコチラから)

お問合せ先

政策調整課カーボンニュートラルポート担当課長

中村

Tel 045-671-7279



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

